

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	KIDS DIARY宇土		
○保護者評価実施期間	令和7年2月5日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なカリキュラムの提供している。	プログラムが固定化しないように、毎月カリキュラムミーティングを行い、チームで活動プログラムの立案を行っている。	活動内容を子ども体自身で考えてもらう機会をつくり、目標達成に向けて自ら計画を立てる力や段取り力を養う取り組みを行う。
2	土日祝日の営業を行っており、家族のニーズや状況に応じた支援、レスパイトケアの提供を行っている。	子どもたちにとって学校やご家庭以外で安心して過ごせる場所となるように環境を整えている。またご家族の休息や自分の時間を確保するための「レスパイトケア」の役割を果たせるように努めている。	関係機関との連携を緊密に、ご家庭ごとの状況に寄り添っていく。また、保護者参加型のイベント活動を実施し、ご家庭において親子間の絆が深まるように支援していきたい。
3	実践を通じた生活力の向上	生活習慣の確立に加え、料理や買い物、スケジュール管理など、実生活に直結するスキルを、体験を通じて学び、家庭や地域社会で役立つ具体的な生活力を高めることを目標に取り組んでいる。	子どもたちの将来の夢や就労に繋がる活動を体験してもらうために、屋外活動を中心とした「アクティ部 KIDS」と、食に通じる仕事に夢を持つ子ども達が所属する「KIDS 食堂」と2つの事業部を設立し、いずれかの事業部を選んで所属できる制度を導入し取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の人と交流する機会が少ない。	公園に地域の人との交流ができるような活動等が実施できていない。	地域の児童館や公園等へ行く機会を設け、安全に十分配慮しながら、地域の行事に参加する機会をつくりたい。
2	保護者同士の交流がほとんどない。	保護者会等の保護者同士やきょうだい児が交流できる場が設けられていない。	今後は保護者やきょうだい児が参加できる茶話会や行事等を実施したい。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
KIDS DIARY宇土		令和7年3月31日		27		20	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
2	職員の数配置は適切であると思いますか。	10	4	0	6	・子どもに対してどれくらいの職員数が必要なのかわからないので何とも言えない。 ・適切な配置数であることを周知していきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	3	・施設が2階にあるため階段があることが課題でしたが、R7年4月中に移転予定です。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	1	3	・日々清潔、感染症予防に努めている。 ・音や振りの動き等が気になる方は、イヤーマフやヘッドホン等で対応していきます。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3	1	1	・職員のスキルにバラつきがあるように感じる。 ・経験年数の少ない職員もいるため、OJTや研修など資育の質を高める取り組みを継続して行っていくたい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2	0	1	・毎月のカリキュラムは見えたことがあるが、支援プログラムはまだ見えない。 ・令和7年3月12日にHPにて公表しています。 ・今後保護者に対して周知を行います。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	・子どもひとりひとりの課題やニーズに沿った個別支援計画となるよう心がけています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	3	1	0	・今年度から個別支援計画の形式変更がありました。個々の課題やニーズを踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込むよう努めています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2	0	0	・今後も支援計画に沿った支援が行えるよう取り組んで参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	0	・プログラムが固定化しないように、毎月ミーティングを行い、新たな活動を考え、実施している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会がありますか。	9	4	0	7	・公園活動や外出活動等で地域の方との交流の機会がありますが、更に交流の機会を設けていきたいと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	1	・利用者様や保護者様が不安に思うことのないよう、丁寧な説明を心がけて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	1	・利用者様や保護者様が不安に思うことのないよう、丁寧な説明を心がけて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	2	3	・そういった情報は無い。 ・事業所で研修の開催はしていないため、自治体や関係機関での研修等の情報があればお便り等でお知らせします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	4	1	0	・日々の様子や活動の面の様子、課題など、電話や連絡帳、メッセージアプリなどを使用し伝えるようにしています。 ・今後は送迎時にお会いできない場合も共通理解が図れるように、取り組みを検討したいと思えます。
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	5	1	1	・定期的な面談・助言はない。 ・送迎時の申し送りやモニタリングの機会を活用してお話させていただいております。 ・送迎時にお会いできない保護者様もお気軽に相談できるような環境を整えて参ります。
	17	事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。	17	1	1	1	・何をもちて共感的なのかわからない。 ・利用者様一人一人の特性を理解し、子どもたちの気持ちに寄り添った支援を心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	3	4	8	・そういったイベントはない。 ・現在保護者会等の開催はありませんが、今後は保護者様の交流や情報交換の場として茶話会や親子イベントの開催も検討したいと考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	5	0	0	・ご要望があれば様々なそういった場を設けています。周知説明に関しては不足しているため、今後対応していきたいと思えます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1	1	0	・送迎時に保護者様と近況等をお話しするなど、情報共有に努めています。 ・連絡帳の活用や必要に応じて、個別面談、お電話やメッセージアプリなどを使ってご連絡をするようにしています。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	2	・毎月お便りを発行し、印刷時の様子や、行事予定、お知らせを掲載しています。 ・SNSを活用して、日頃の活動の様子等を発信しています。 ・自己評価の結果はHPに記載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	2	・個人情報の取り扱いには十分に注意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	7	・周知されていないように感じる。 ・事業所内に掲示しています。 ・周知不足なので、今後はお便りやSNS、HP等での記載を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	9	・子どもから避難訓練や安全教室をしていると聞いている。 ・わからない。 ・定期的に訓練を行っています。 ・訓練の内容や様子等の周知不足だったので、今後はお便りやSNS等を使って周知を回ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	4	・安全計画に基づいた支援をしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	2	・事故や怪我等が発生した場合、迅速にご家庭に連絡を行い、発生時の状況を説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0	・今後も安心して通所していただける環境作りを努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	0	0	・子ども同士のケンカやからかい等があることから行きたくないことも多い。 ・安心して楽しく通えるようカリキュラム等の工夫や環境整備を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	3	1	0	・もう少し子どもに寄り添った支援をお願したい。 ・不満に思われる問題の改善に取り組み、利用者様や保護者に満足していただけるような支援を心がけて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KIDS DIARY 宇土	公表日		令和 7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	適切であるが、活動内容によっては屋外での活動を取り入れるなど工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	配置基準に基づいて配置を行っている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	2階の施設のため階段があることが課題だったが、R7年4月中に移転予定あり。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	気持ちの切り替えやクールダウンをする場合、必要に応じて別室（仕切りのある部屋）を使用してもらっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	PDCAサイクルを心がけ、定期的な職員ミーティングを行い、業務改善を図っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者向け評価表を活用し、業務改善に取り組んでいる。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員ミーティングで意見を出し合い、その内容を検討することで業務改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	現在、第三者評価は行っていない。	第三者評価の実施については今後の検討課題とする。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修への参加や内部研修を行うことで職員の資質向上に努めている。	引き続き職員の資質向上に努めていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	適切な支援プログラムの作成に努めており、ホームページに公表している。	職員にも分かりやすく情報共有を行っていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	6ヶ月毎のモニタリングを実施、また必要な場合は随時面談を行い、個別支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画作成会議を行い、職員が共通理解を持ったうえで支援について検討を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎日のミーティングでの情報共有を行い、職員が個別支援計画もいつでも確認できるよう環境を整えている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の子どもの様子を職員間で共有し、アセスメントを行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	放課後等デイサービスガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、必要な項目を適切に個別支援計画に反映、設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月カリキュラムミーティングを行い、チームで活動プログラムの立案を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	プログラムが固定化しないように毎月ミーティングを行い、活動を考えて実施している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	それぞれの状況や特性に応じて、個別活動や集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援後か翌朝のミーティングで打ち合わせを行い、支援の振り返りを行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援後か翌朝のミーティングで打ち合わせを行い、支援の振り返りを行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	一日の支援について丁寧かつ詳細な記録を心がけ、日々の改善につなげている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	6ヶ月毎にモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っている。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動や余暇時間の中で自己選択する等の場面を設けて支援している。		

関係機関 や保護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が、情報の整理を行い会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて関係機関との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者を通して情報を得ている。また学校への送迎時に担任の先生と情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	必要に応じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	移行支援会議に参加し、必要に応じて情報の提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	児童発達支援センター主催の研修や情報交換会等に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		今のところ、交流の機会がない為、今後交流する機会を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	宇城圏域障がい者支援協議会こども部会に定期的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に保護者の方と直接お話ししたり、連絡帳やメッセージアプリを使ってお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		ご相談を受けたら、随時対応ができる状況にあるが、周知不足であった。研修等の情報提供を徹底したい。
保護者への 説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に、契約書、重要事項説明書をもとに説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングやアセスメントの際、本人やご家族の意向や思いなどを確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	個別支援計画の内容を説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎の際に、ご家族の悩み等の相談に応じたり、必要があれば適宜面談日を設定している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		今年度保護者会等は行ってない。今後は保護者やきょうだい参加できる茶話会等を実施したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合、苦情受付担当に繋げ、迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月通信を発行し、利用時の様子や行事予定、お知らせを掲載している。また、SNS（インスタグラム）を活用して、日頃の活動の様子等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱いには十分に注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	行動から読み取る、絵カードを使う、ことばと身振りを組み合わせるなど、それぞれのこどもの意思表明の方法で意思の疎通や情報伝達を行うように配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		地域に開かれた事業運営を図るために、どういった行事ができるか検討したい。
非常時 等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		マニュアルを作成して職員への周知はできているが、保護者への周知が不十分だったように思う。今後、保護者への周知も十分に行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用者の服薬についての情報共有を行うようになっている。発作症状のある利用者に関しては、対応方法を保護者と関係機関と共有して支援にあたっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アセスメント時にアレルギーの確認を行っている。詳細に関しては、保護者に確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		保護者へ安全計画に基づいて支援を行っていることへの周知が不足していた。わかりやすく周知をしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットの報告は随時行い、記録した上で、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的な研修や虐待防止委員会を実施し、職員間の共有を行っている。	